

住まい	市外	性別	女	年齢	代
-----	----	----	---	----	---

- こちらの（烏山）の図書館がなくなることを南那須の方に聞いて来たのですが、私が小学校に通っていた頃の雰囲気があって落ち着きます。貴重な図書館なので、是非なくならないで欲しい。

住まい	市内	性別	男	年齢	80代
-----	----	----	---	----	-----

- 健康診断を毎年受けていますが、職員の対応は満点です。ただ、80歳以上の者は優先的に診てもらって短時間のうちに終了するようご配慮下さい。ちなみに今日は2時間かかりました。80歳を超えた者にとっての2時間は大変苦勞（苦痛）です。是非、優先席を作ってみてください。

住まい	市内	性別	男	年齢	70代
-----	----	----	---	----	-----

- 市民サービスの向上【政策6-3】 市民相談室の設置(専門相談員[常駐]、補助員(行政、人権、民生委員)
理由： 私事、人権・心配ごと相談員として永年相談に携わっておりますが、相談員として知識不足(行政機構、法律など)で悩んでいます。

県内には、行政外部団体で約300の相談窓口がありますが、複雑な専門的機構で適切なる問題解決の窓口紹介に不安であり、最近の行政は、業務が細分化され、個人情報保護等で垣根が多く、同じ課内でも係によって部分対応となり「たらい廻し」になりかねない。また、業務実績のための受付はするが、関係機関の連携も取れていなく、責任転嫁が見受けられる。

来談者に的確な対応をするためにも、市民相談室(よろず相談)の設置により、庁内電話等により上部機関の担当者くらい紹介することが、基本的な住民サービスの提供であり、一般住民がもっと気軽に相談・解決の出来る住民の各種相談を統括した「よろず相談窓口」を設置することが、市民の声、苦情や意見を市政に届け、明るい市政造り、悩み事の適正なアドバイスが出来る場所の環境整備を希望します。

- 事務・事業等の見直し【政策8-1】 財政効果の自己評価と採点
理由： 官僚政治、住民サービス重視と云われているが、地方交付税を頼りにする貧困財政の中で全国同一水準のサービスは困難だろう、戦後からの行政と現代行政を継続することは支出拡大だけ。

「効果の少ないものから切る」という考えから・・・

いくら大切な臓器でも、病的要因は摘出手術をする以外に回復は出来ない。そのためには、外部行政監査や自己評価によって恒年的な行事予算を見直し新しい芽を伸ばして下さい。

(戦後、農地解放時に小作人を守る農業委員会など、現在も存在していることが不思議でならない。) サービス効果(企業なら原価)の確認評価を常とする。

住まい	市内	性別	男	年齢	40代
-----	----	----	---	----	-----

- 観光の振興【政策4-3】 JR烏山線の利用向上
理由： JR烏山線に乗って駅弁を食べる。終点(烏山)でそばを食べる。駅弁を食べておいしいと感じられる車輦を走らせるのはどうでしょうか? 大人数を呼ぶのではなく、一人当たりの単価が高くとも、上質な方が良くと思います。

鉄道は観光資源になると思います。毎日の生活にも必要です。